琉球大学
第 38 号

同窓会会報

平成 28 年 3 月 18 日



琉球大学同窓会創立60周年記念講演･記念式典･祝賀会にて

目　次

■会長あいさつ …… 2
■同窓会創立60周年記念事業の紹介
チャリティゴルフコンペを開催 …… 3
岸本正之氏顕彰碑建立除幕式を挙行 …… 5
記念講演を開催 …… 5
記念式典・祝賀会を開催 …… 6
■同窓会事務局便り
平成27年度定期総会概要 …… 8
平成26年度決算･平成27年度予算概要･事業計画 … 8
平成27年度事業計画 …… 9
平成27年度支部長会 …… 10
支部長及び事務局長連絡先 …… 10
第２回琉球大学ホームカミングデーを開催 … 11
平成28年琉球大学賀詞交歓会 …… 11
■琉球大学支援事業
琉球大学へ課外活動奨励金を贈呈 …… 12
「平成28年度教員候補者選考試験対策講座」を実施･
平成29年度対策講座計画表 …… 12
教員候補者選考試験合格体験記 …… 13
■支部活動報告 …… 14
■母校情報等
教職大学院がオープン …… 19
活躍する琉大生 …… 19
サークル活動紹介 …… 20
寮歌・大学の歌祭りに参加 …… 20
教育余話 …… 21
退職される恩師紹介 …… 21
■インタビュー
琉球銀行頭取　金城棟啓 …… 22
映画監督　中江裕司 …… 23
■学部・学科同窓会総会概要 …… 24
■同窓生情報・寄付情報 …… 24
■文芸活動欄 …… 25
■平成27年度同窓会役員 …… 26
■ご案内・お願い
平成28年度「定期総会」等のご案内 …… 28
会費納入についてのお願い …… 28
■編集後記 …… 28

会長あいさつ



琉球大学同窓会会長　幸 喜 徳 子
（教育学部体育科　1966年卒 14期）

春たけなわのこの頃、会員の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より琉球大学同窓会に対しご支援、ご協力を賜り誠に有難うございます。

お蔭様で平成27年は20年ぶりに八重山支部が再スタートしたことをはじめ、5期卒業生、岸本正之氏が継続しておられる各種慈善事業及び母校や本同窓会への貢献に対する顕彰碑を建立し、芸術祭、チャリティゴルフコンペ、創立60周年記念式典、記念講演会をはじめ諸事業を滞りなく終えることができました。同窓会員ほか県民多数の皆様のご協力の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。

只今は諸事業のまとめとして琉球大学同窓会創立60周年記念誌の発刊に向け鋭意、編集作業を進めているところでございます。

平成27年は毎年無償で開講している、教員採用試験対策講座の受講生131名のうち44名が見事に合格しました。ご本人はもとより本講座を担当しておられる講師陣のご努力の賜物と心から敬意を表しお祝いを申し上げます。

合格された皆様には近い将来、教育現場で立派なご活躍をされることとご期待申し上げます。

今年平成28年7月23日（土）には定期総会・シンポジウム・懇親会を行います。これまで就職・県経済・産業・医療・国際社会問題等様々な分野を取り上げましたが、今回は「これからの沖縄観光と人材育成」をテーマにしたシンポジウムとなります。

沖縄観光は今や全国トップの人気度を誇り、国内、海外からの入域客も年々増加の一途をたどっております。琉球大学には観光産業科学部があり観光を担う人材育成がなされておりますが、同学部の下地芳郎教授をはじめ、実社会で活躍する観光関連企業及び組織のリーダーを招きお話を賜り、沖縄観光の発展に資するものにしたいと思っております。

懇親会では八重山支部の皆様が遠路ご参加下さり八重山民謡、舞踊等、至芸をご披露致します。お楽しみ抽選会も選りすぐりの賞品をそろえて実施致します。

どうぞ多くの皆様が定期総会・シンポジウム・懇親会にご参加下さり、華を添えて下さいますようお待ち申し上げます。

平成28年度も執行役職員一同、心ひとつに活発な同窓会を運営して参りますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願いし会長あいさつと致します。

同窓会創立60周年記念事業の紹介

平成26年12月4日に創立60周年を迎えた同窓会は、記念事業として平成27年2月11日に「記念芸術祭」、4月21日に「チャリティゴルフコンペ」、7月11日に「記念講演・記念式典・祝賀会」を開催しました。また、記念事業の一環として、7月9日に米国在住の同窓生で世界的な慈善活動を行い琉大及び同窓会にも多大な貢献をした岸本正之氏の顕彰碑建立除幕式を行いました。

昨年発行の会報第37号に掲載した「記念芸術祭」に引き続き、今回は「チャリティゴルフコンペ」、「記念講演・記念式典・祝賀会」、「岸本正之氏顕彰碑建立除幕式」の模様を紹介します。

チャリティゴルフコンペを開催

創立60周年記念チャリティゴルフコンペが、平成27年4月21日（火）に琉球ゴルフ倶楽部で開催されました。当日は、曇り空の下気温22度とゴルフをやるには絶好のコンディションで、83組、321名と多くのプレーヤーが参加しました。

当日は、チャリティゴルフコンペ実行委員会の稲嶺惠一特別顧問（元沖縄県知事、㈱りゅうせき参与）の始球式によりプレーを開始し、午前の部、午後の部に分かれて腕を競いました。

ゴルフコンペでは、同窓会役員のほか沖縄県経営者協会はじめ各企業の方々や琉大ゴルフ部の皆さんがスタッフとして運営にあたり、午前7時に開始したコンペは午後6時頃に最終組がプレーを終え滞りなく終了しました。各プレーヤーはプレー終了後抽選を行い、70社にのぼる協賛企業から提供された素晴らしい賞品をもれなくゲットしました。

プレーの結果、仲地武光さんが見事優勝し、「JAL東京往復航空券」を獲得しました。その他準優勝、3位、10位、20位、60位、ベストグロス賞の方々に賞品が贈られ、7月11日に開催された60周年記念式典・祝賀会において表彰式・賞品授与が行われました。



スタート前の集合写真



稲嶺惠一特別顧問による挨拶



ピープルズバンク

㊧沖縄銀行

頭取　玉城義昭



Little Twin Stars ©1976, 2016 SANRIO CO., LTD.　APPROVAL No. G563092



南コーススタートチーム



東コーススタートチーム



西コーススタートチーム



西コースチーム



プレー終了後の抽選会



祝賀会における表彰式

沖縄を緑の島に　緑と花で心に安らぎを！

OKINAWA KAIHO 海邦銀行

代表取締役頭取　上地　英由

岸本正之氏顕彰碑建立除幕式を挙行

平成27年7月9日（木）に創立60周年記念事業として、これまで琉球大学や同窓会に多大な寄付等支援を行ってきた同窓生（英文科5期）で米国在住の岸本正之氏の功績を讃えるため同氏の顕彰碑を琉球大学構内首里の杜に建立し除幕式を挙行しました。岸本氏は琉球大学卒業後フルブライト米国国費留学生としてメリーランド大学・大学院に学び、日本航空勤務を経て、「岸本ファミリー基金」を創設、これまで発展途上国への食糧支援や地球環境保護等グローバルな慈善活動を行う傍ら、県内高校生の米国等留学の支援や琉大、同窓会への寄付・寄贈を行っています。

当日は岸本氏ご夫妻及び大城肇琉球大学長、幸喜徳子同窓会長ほか関係者により、首里の杜において顕彰碑除幕、大学本館にて主催者挨拶、来賓挨拶及び岸本氏ご本人の挨拶があり、約40分にわたる除幕式を終えました。



岸本正之氏挨拶

地球市民教育のすすめ

教育の力は地球社会発展の原動力。
地球市民教育で恒久平和の実現が可能になる。
行政の力は多民族共存共栄の推進力。
地球政府なくして地球社会の問題は解決できない。
地球は一つ、人類も一つ。目指そう地球政府

岸本正之（英文科五期生）



岸本正之氏顕彰碑

記念講演を開催

平成27年7月11日(土)午後2時10分から記念講演が行われました。講師には、発展途上国への食糧支援や地球環境保護等グローバルな慈善活動をはじめ、高校生の米国等研修支援や琉球大学及び同窓会への支援を行ってきた米国在住の同窓生で「岸本ファミリー基金」創設者の「岸本正之氏」を招き、「地球社会の明日を読む」とのテーマで講演を行いました。岸本氏の世界を巡って見てきた貴重な体験に基づき、恒久的な世界平和を実現するためには「地球政府」の樹立を目指さなければならないとの地球社会の未来への提言に約200名の聴衆は感銘を受け聴き入っていました。



地元と　ともに
コザ信用金庫
〒904-0031 沖縄市上地２丁目10番１号　☎（098）933-1137（代表）
http://www.kozashinkin.co.jp

記念式典・祝賀会を開催

記念講演に引き続き、午後3時30分から記念式典が行われました。琉球大学の歌「雲よ湧け千原の空に」の一斉斉唱により開会し、会長挨拶、同窓会の活動状況報告の後、大城肇琉球大学長の祝辞、翁長雄志沖縄県知事（代理 安慶田光男副知事）の祝辞、上間明西原町長の祝辞を賜りました。その後、これまで同窓会活動へ多大な貢献・協力された39名（社）の方々へ感謝状の贈呈が行われました。また、琉球大学より同窓会へこれまでの寄付活動等に対する感謝状の贈呈が行われました。さらに、琉球大学より岸本正之氏へこれまでの国際交流と発展への貢献に対し名誉博士号の授与が行われました。最後に受賞者を代表して岸本正之氏による謝辞があり、式典は滞りなく終了しました。

記念式典のあと、午後5時から祝賀会が行われました。華やかな「かぎやで風」による幕開けにより始まり、会長挨拶の後、佐喜眞淳宜野湾市長の祝辞を賜り、琉大音楽科OBの「ヴォーカルアンサンブルG4」によるコーラスに続き、沖縄県経営者協会の安里昌利会長による乾杯の音頭で祝賀会を盛り上げていただきました。また、4月21日に開催しました「60周年記念チャリティゴルフコンペ」の表彰式が行われ、優勝者には日本航空より「沖縄・東京往復航空券」の賞品が授与され、その他ベストグロス賞、女子上位者等への賞品授与が行われました。懇談をはさんで琉舞「貫花」の披露、弦楽五重奏による合奏があり、最後に参加者全員で「琉大逍遥歌」を斉唱し、1時間半にわたる祝賀会を終えました。



幸喜徳子会長の挨拶


大城肇学長の挨拶


沖縄県知事（安慶田光男副知事代読）の挨拶


上間明西原町長の挨拶


佐喜眞淳宜野湾市長の挨拶


沖縄県経営者協会 安里昌利会長の乾杯の挨拶


功労者への感謝状授与


琉球大学より同窓会への感謝状授与



岸本正之氏へ名誉博士号授与



「かぎやで風」による幕開け


琉球大学の歌斉唱


余興（ヴォーカルアンサンブルG4）



余興（弦楽五重奏）


弦楽伴奏による逍遥歌斉唱



同窓会事務局だより

平成27年度定期総会概要

平成27年度定期総会が7月11日（土）午後1時から那覇市のホテルロイヤルオリオンで開催され、約60人の会員が出席しました。開会挨拶、幸喜会長挨拶の後、議長団、議事録署名人の指名が行われ、「平成26年度収支決算」、「平成27年度収支予算（案）」、「役員一部改選(案)」など6議案が審議され、審議の結果、すべての議案について原案どおり承認されました。

役員の一部改選については、仲門勇市副会長、九反田悦子副会長から辞職願があったことから改選を行ったものであり、後任の副会長には、嘉手苅喜郎氏と上原正信氏が選出されました。

質疑応答では、同窓会活動の財源となる会費収入が年々減少していることに対し、大学側とも連携するなどにより会費収納の増加を図る方策を検討すべきとの意見などが出され、同窓会としても改善策を検討する旨の回答がありました。

総会終了後、引き続き午後2時10分から創立60周年記念講演、午後3時30分から記念式典、午後5時から祝賀会が開催されました。





議長団を務めた、上原政英（右）、名嘉地用輔（左）両氏

平成26年度決算・平成27年度予算概要・事業計画

平成26年度決算（単位：円）	
（1）収入総額	19,393,709
うち会費収入	6,040,000
（2）支出総額	11,613,010
①運営費	5,040,767
②事業費	6,572,243
③その他	0
（3）繰越金額	7,780,699

平成27年度予算概要（単位：円）	
（1）収入総額	17,780,699
うち会費収入	8,000,000
（2）支出総額	13,189,000
①運営費	5,500,000
②事業費	7,688,000
③その他	1,000
（3）繰越金額	4,591,699

平成27年度事業計画	
6月　3日(水)	教員候補者選考試験対策講座
	（4月8日開講　6月／4回開催）
6月　5日(金)	三役会
6月　9日(火)	学生課外活動支援金贈呈
6月19日(金)	監査（平成26年度決算）
6月23日(火)	評議員会





平成27年度事業計画

年 月 日(曜日)		事　業　計　画
平成27年	6月 3日(水)	教員候補者選考試験対策講座(4月8日開講　6月／4回開催)
	6月 5日(金)	三役会
	6月 9日(火)	学生課外活動支援金贈呈
	6月19日(金)	監査(平成26年度決算)
	6月23日(火)	評議員会
	7月 1日(水)	教員候補者選考試験対策講座(7月／4回開催)
	7月 9日(木)	岸本正之氏顕彰碑除幕式
	7月11日(土)	支部長会・定期総会・創立60周年記念講演・式典・祝賀会
	7月18日(土)	関西支部総会・懇親会
	8月 1日(土)	宮古支部総会・懇親会
	8月 3日(月)	教員候補者選考試験対策講座(8月／10回開催)
	9月16日(水)	記念誌部会及び会報編集委員会
	10月15日(木)	三役会
	10月17日(土)	関東支部総会・懇親会
	10月20日(火)	記念誌部会及び会報編集委員会
	11月 7日(土)	九州・山口支部総会・懇親会
	11月12日(木)	記念誌部会及び会報編集委員会
	11月14日(土)	琉球大学ホームカミングデー
	11月26日(木)	久米島支部総会・懇親会
	11月30日(月)	三役会
	12月16日(水)	記念誌部会及び会報編集委員会
平成28年	1月 4日(月)	琉球大学賀詞交歓会
	1月10日(日)	八重山支部総会・懇親会
	1月20日(水)	記念誌部会及び会報編集委員会
	2月17日(水)	会報編集委員会
	2月24日(水)	記念誌部会
	3月 5日(土)	沖縄寮歌・大学の歌祭り
	3月16日(水)	記念誌部会
	3月18日(金)	琉球大学卒業式
	3月18日(金)	会報(第38号)発行
	4月 5日(火)	琉球大学入学式、入会金納付案内
	4月 6日(水)	平成29年度教員候補者選考試験対策講座開講式
	4月　日(　)	記念誌部会
	5月　日(　)	寄付金(学生課外活動奨励金)贈呈
	5月22日(日)	琉球大学開学記念日
	5月31日(火)	創立60周年記念誌発行

～学生・教職員の大学生活を応援します～

【琉球大学ロゴマーク入り商品もあります】

●事業内容：食堂・旅行・書籍・公務員対策講座・英語講座・就職支援・部屋の紹介など

●琉大ロゴマーク入りオリジナル商品：「60周年記念泡盛ボトル(２種類)」「琉球ガラスのグラス(各色)」「ノート」「３色ペン」「琉球松軸のペン」「クリアフォルダ」「ハンカチ」「金のしおり」「ポロシャツ」など。購入については下記までお問い合わせください。

琉球大学生活協同組合

TEL：098-895-2620 琉球大学内　HP：http://kyushu.seikyou.ne.jp/ryudai-coop/

平成27年度支部長会

定期総会に先立って、午前11時から例年どおり支部長会を開催しました。県内外7支部の支部長と今年は創立60周年の記念の年ということもあり各支部の事務局長も参加しました。開催前日の台風9号の影響から出席できない支部もありましたが、5名の支部長（高山厚子関東支部長、国吉兼三関西支部長、照屋常信九州・山口支部長、長濱幸男宮古支部長、宜野座安夫八重山支部長）と3名の事務局長（金城利光関東事務局長、松下博文九州・山口事務局長、下地國雄宮古事務局長）が出席し、各支部からの報告及び本部三役との意見交換を行いました。

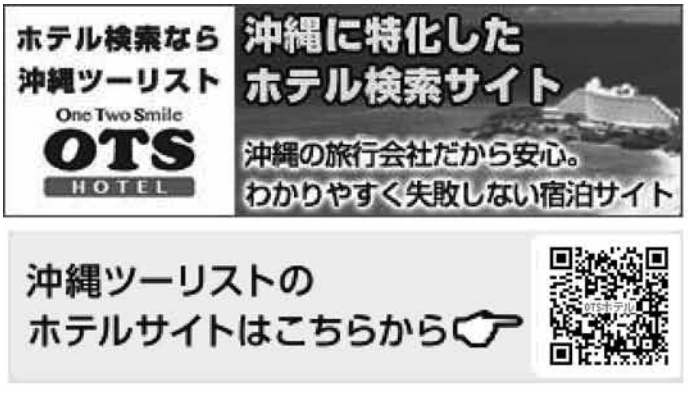
なお、奄美支部の山田和憲支部長、久米島支部の儀間周倫支部長、平田光一事務局長は台風の影響による飛行機の遅れで午後の祝賀会から参加しました。

（各支部の活動報告については、P14～P18をご覧下さい。）



支部長及び事務局長連絡先

支　部（会員数）	名　称	氏　名	電話番号	住所・E-メールアドレス
関　東（590）	支部長	高山厚子	03-6226-2200	〒104-0061 東京都中央区銀座４-9-6 陽光銀座三原橋ビル6F（中島信一郎法律事務所内） takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
	事務局長	金城利光	080-5020-4369	kinjo@idj.co.jp
関　西（150）	支部長	国吉兼三	0721-55-0948	〒586-0094 大阪府河内長野市小山田町3079-17
	事務局長	小渡照生	0729-64-7237	〒578-0937東大阪市花園本町2-12-28 nahatuboya282@yahoo.co.jp
九州・山口（100）	支部長	松下博文	092-925-9160	matusita@chikushi-u.ac.jp
	事務局長	四郎丸　治		〒812-0013 福岡県粕屋郡新宮町大字上府634-1 エルメゾン新徳C-102　shirou@ka2.so-net.ne.jp
奄　美（200）	支部長	山田和憲	0997-53-8343	〒894-0031 鹿児島県奄美市名瀬金久町22-９
	事務局長	岡村　誠	0997-54-2030	makototao@flute.ocn.ne.jp
久米島（60）	支部長	儀間周倫	098-985-8956	〒901-3105 久米島町字宇根54
	事務局長	平田光一	090-9782-5663	〒901-3115 久米島町字儀間494
宮　古（300）	支部長	長濱幸男	0980-72-9664	〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添1693-5 na.yukio@miyako-ma.jp
	事務局長	下地國雄	0980-73-3313	〒906-0007 宮古島市平良字東仲宗根741-11
八重山（200）	支部長	宜野座安夫	090-7390-0350	〒907-0024 石垣市字新川49-3
	事務局長	宮良永秀	0980-82-4701	〒907-0243 石垣市字宮良232-10



50名以上の琉球大学卒業生が
沖縄ツーリストで活躍しています！

地域に根ざし 世界にはばたく

ワントゥー・スマイル
OTS 沖縄ツーリスト

本社：那覇市松尾1-2-3 ☎ (098) 862-1111
●旅行部　●レンタカー部
代表取締役会長　東　良和
取締役社長　平良　健

第2回琉球大学ホームカミングデーを開催

第２回琉球大学ホームカミングデーが平成27年11月14日（土）に琉球大学大学会館等にて開催されました。

本イベントは、本学卒業生や地域の方々をお招きし、世代を超えた新しい交流と、琉球大学の「今」を知って頂くことを目的としたもので、在学生や卒業生、本学教職員及び地域の方々等、約70名が参加されました。ホームカミングデーの幕開けには、八重山芸能研究会により「目出度節（めでたいぶし）」及び「浜遊び（はまあすぃび）」が披露され、続いて有限会社プロジェクトＺｅｎｋｏ代表取締役のいらみなぜんこ氏を講師としてお招きし、「童謡唱歌の世界～子供の頃の自分に会いたいあなたへ」をテーマに講演が行われました。いらみな氏は、23年前から全国の童謡作家のふるさとを訪ね、取材を続けており、「七つの子」や「青い眼の人形」を含む８曲の童謡を披露して頂きました。観客はそれぞれの曲の魅力や、童謡の奥深い背景、歌声に聴き入っていました。その後は琉球大学生協中央食堂にて懇親会が開かれ、学長の挨拶に続き、琉球大学同窓会の幸喜徳子会長による乾杯の挨拶の後、開学当時から近年までの写真や本学の最近の実績が上映され、参加者は昔の大学の様子等を眺めながら和やかに懇談を行い、楽しいひとときを過ごしました。



平成28年琉球大学賀詞交歓会



平成28年琉球大学新年賀詞交歓会が1月4日（月）に琉球大学本部棟にて行われ、同窓会役員も出席しました。大城肇学長の挨拶に続き、同窓会評議員でもある琉球大学経営協議会の比嘉梨香委員の乾杯の音頭があり、琉球大学、後援財団、同窓会等の約60名の出席者による賀詞交歓会がなごやかに行われました。

約1時間にわたる懇親のあと、儀保博信同窓会副会長による終わりの挨拶で賀詞交歓会は終了しました。

今日も確実に、安全に。

スイッチをつけると
照明が部屋を明るく照らす。
ボタンひとつでテレビがついて、
電子レンジは夕食を温めてくれる。
会社のパソコンが、工場の機械が、
人々の仕事を助け
暗くなると街灯はいつの間にか
夜道をやさしく照らしている。
意識することなく
毎日の暮らしの中にある電気。
その電気を確実に
あなたのもとへ届けること、
それが私たちの仕事です。
毎日の暮らしの中で意識されないこと。
あたり前と感じてもらえること。
今日もスイッチをつければ
何事もなく明かりがつくこと。
それが私たちの誇り。
必要な人、待っている人、その暮らしの中へ

地域とともに、地域のために
沖縄電力



琉球大学支援事業

琉球大学へ課外活動奨励金を贈呈

平成27年6月9日、幸喜徳子同窓会長ほか役員が琉球大学に大城肇学長を訪ね、学生の課外活動を奨励するための資金として120万円を贈呈しました。

この「課外活動奨励金」贈呈は、同窓会が母校への支援事業として平成元年から毎年行っているもので、例年、100万円の寄付であったが、昨年は同窓会創立60周年記念事業として開催した「芸術祭」及び「チャリティゴルフコンペ」における収益金を一部上乗せして120万円の寄付となりました。

大学によると、平成26年度の奨励金は延べ28団体・413人に対し授与されており、大城学長からは「学生の課外活動に有効に活用します。」とのお礼の言葉がありました。



幸喜会長から大城学長へ奨励金贈呈

「平成28年度教員候補者選考試験対策講座」を実施

同窓会は会員の就職活動支援として毎年、琉球大学の在学生及び卒業生を対象に、沖縄県が実施する「教員候補者選考試験」対策として無料講座を開設しています。

昨年は4月8日～8月14日までの間、全27回（基本的に週1回）に亘って実施し、教員選考試験対策の指導に経験豊富な講師陣の下、131人（延べ1029人）が講座を受講し、44人（同窓会把握分）が合格しており、合格率33.6％と高い実績を上げています。

本講座は、本年も次表「平成29年度教員候補者選考試験対策講座計画」のとおり開設する予定ですので、受講希望の皆様の参加をお待ちしています。

平成29年度（平成28年実施）教員候補者選考試験対策講座計画表

開催日（曜）	講座の内容	講師氏名	区分
4月6日㈬	開講式		
4月6日㈬	教員に求められるもの（選考の視点）	津留　健二	一次試験対策
4月13日㈬	志願書の記入添削と指導	神元　正勝	一次試験対策
4月20日㈬	学習指導要領概説Ⅰ（小中学校）	山田　　稔	一次試験対策
4月27日㈬	学習指導要領概説Ⅱ（高等学校）	上江洲公志	一次試験対策
5月11日㈬	一般教養Ⅰ・練習問題	上江洲公志	一次試験対策
5月18日㈬	一般教養Ⅱ・練習問題		一次試験対策
5月25日㈬	一般教養Ⅲ・琉球歴史1・練習問題	比屋根為勝	一次試験対策
6月1日㈬	一般教養Ⅳ・琉球歴史2・練習問題		一次試験対策
6月8日㈬	教育法規Ⅰ・（基本法、演習）	山田　　稔	一次試験対策
6月15日㈬	教育法規Ⅱ・（基本法、演習）		一次試験対策
6月22日㈬	教育法規Ⅲ・（諸法、演習）	大嶺　和男	一次試験対策
6月29日㈬	教育法規Ⅳ・（諸法、演習）		一次試験対策
7月6日㈬	教育法規Ⅴ・（県施策・教育施策等）	新垣　信雄	一次試験対策

開催日（曜）	講座の内容	講師氏名	区分
8月1日㈫	自己アピール文の作成と指導	神元　正勝	二次試験対策
8月2日㈬	教育論文の書き方		二次試験対策
8月3日㈭	教育論文の作成と添削指導①		二次試験対策
8月4日㈮	学習指導案の作成と添削指導		二次試験対策
8月5日㈯	模擬授業の仕方と実践①		二次試験対策
8月8日㈫	個人面接の傾向と対策	津留　健二	二次試験対策
8月9日㈬	英文自己紹介文作成と面接（小学校）	上江洲公志	二次試験対策
	英作文及び英語面接（中学校・高校）	新垣　信雄	二次試験対策
《総合指導・個人指導》			総合・個人指導
8月10日㈭	教育論文の作成と添削指導②	神元　正勝	総合・個人指導
8月11日㈮	教育論文の作成と添削指導③		総合・個人指導
8月12日㈯	英文自己アピール文と面接指導	上江洲公志	総合・個人指導
8月15日㈫	模擬授業の仕方と実践②	神元　正勝	総合・個人指導
8月16日㈬	模擬授業の仕方と実践③		総合・個人指導

【時間】18:00～19:30　【場所】50周年記念館多目的室/交流ラウンジ　【問合せ先】琉球大学同窓会事務局 TEL098-895-8039

合格体験記

平成28年度採用 教員候補者選考試験



教育学部
学校教育教員養成課程
小学校教育コース
友利　理乃
教育実践学専修４年次

この度、私が教員採用試験の合格を成し遂げることができたのは、同窓会の対策講座に関わってくださった先生方をはじめ、一緒に受験した友達や家族の支えのおかげだと思っております。この場を借りて皆様に深くお礼申し上げます。私の合格体験記を通して、後輩の皆様に合格のバトンを繋ぐことができれば幸いです。

はじめに、教員採用試験対策を行う上で重要だと感じたことを二点挙げます。一つ目は、あらゆる面で情報収集をすることです。日々アンテナを張り巡らせながら、友達や先生方、合格した先輩から実際の試験の様子や対策の仕方などの情報を得て、効率よく勉強することが大切です。二点目は、大学内で開講されている対策講座を活用することです。私は採用試験対策を行うにあたり、大学内で開講されているすべての講座に参加し、先生方と関わる中でたくさんの学びを得ることができました。その学びを本番で発揮できたことが、合格に繋がったのだと思っています。特に同窓会が主催する対策講座では、一次試験対策として教育法規や県の教育施策、二次試験対策として英文自己アピール文や面接などがとても役に立ち、講座でいただいた資料を何度も見返しながら勉強をしていました。それぞれの講座に良さがあるので、効果的に講座を活用することをおすすめします。

次に、私が行った勉強法を簡潔に紹介します。一次試験は、試験範囲が広いですが自分の努力次第で必ず結果を出すことができます。まずは過去問を分析し、色分けをして付箋紙を貼ったり文字のそばに出題年度を書いたりしながら、大事なところを中心に暗記ができるよう自分だけの参考書を作りました。二次試験では、対策内容が幅広いため友達と協力し良いところを吸収しながら、何度も練習を行いました。特に面接や模擬授業は人柄が出るので、緊張せず、堂々と笑顔で行うことが一番大切です。

これから教員採用試験対策を始める皆さん、教採対策を始める前に、今一度自分自身に問いかけてみて下さい。「自分はなぜ教師になりたいのか？」教採対策を行う中で、時には悩んだり壁にぶつかったりすることがあると思います。その時に一番の支えとなるのは、「教師になりたい！！」という強い思いです。ぶれない心があれば絶対に合格できると思うので、勉強を始める前に少し立ち止まって自分自身と向き合うことをおすすめします。皆さんが合格し、教師になってキラキラ輝くことを心より応援しています。私も来年度からは本県の教員として、謙虚な心と学び続ける姿勢を忘れず日々精進していきたいです。

月刊オキナワクラブ発行
新星出版株式会社
代表取締役社長　神谷俊明
〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-16-1（琉球新報開発ビル2F）
TEL.098-866-0741　FAX.098-863-4850
E-mail:ssyuppan@nirai.ne.jp
http://www.s-syuppan.com/

同窓会のトータルプロデュース企業
SALAT
Salat Corporation
株式会社 サラト　http://www.salat.co.jp/
本　社　〒670-0948　兵庫県姫路市北条宮の町172　TEL.079-284-1380
東京支社　〒110-0016　東京都台東区台東4-18-7 シモジンビル5F　TEL.03-3832-6381

支部活動報告

関東支部

支部長　高山厚子

関東支部では、「10月の第3土曜日は同窓会の日」を合言葉に、例年その時期に支部総会と懇親会を開いています。2015年は10月17日(土)に開催いたしました。大学からは大城学長と平良総務課長、同窓会本部からは幸喜同窓会会長と照屋副会長にご臨席いただき、また、関東支部の同窓生60数名の参加を得て、盛会裏に開催することができました。隔年ごとに開催される機械工学科の同窓会からの合流もあり、また、同窓の與座卓(よざ・たかし)氏の40年に及ぶ国際協力の経験を踏まえた講演会もあり、例年以上に充実した総会となりました。

懇親会は、二次会を同一施設で行ったこともあり、ほとんどの方が引き続き参加していただき、大いに盛り上がりました。学長や同窓会長を含め、世代の垣根を越えた同窓会らしい懇親の場になりました。

今後も同窓会への参加者を増やしていくべく、関東支部ではいろいろな取り組みをしていく予定です。ゴルフコンペの復活、沖縄料理を楽しむ会の開催、などを模索中です。会員の皆さんの知恵を集めて、充実した同窓会にしていければと思います。





総会・懇親会(平成27年10月17日「日本教育会館 飛鳥の間」)

◇ ◇ ◇

関西支部

支部長　国吉兼三

関西支部総会は年に一度、例年にならえば7月の第二土曜日となるのですが、この日は本部の総会が設定されたため、今年度は一週間遅れの7月18日の開催となりました。場所は大阪市大正区(JR大阪環状線大正駅下車すぐ)にある沖縄料理の店「おもろ」にて、同窓会本部から幸喜徳子会長と照屋寛八副会長がお見えになり、母校琉球大学から外間登美子副学長のご臨席をたまわり、総勢26人の出席で盛大に開かれました。出席者の数からいうと最近5年間の平均が27人ですので、ほぼ平年並みといえます。



総会・懇親会(平成27年7月18日「おもろ」)

前々回の会報で、同窓会活動を活性化させるため「参加者の固定化をどう打破するかが今後の課題」と書いていますが、今回はうれしいことに新会員が5名も増えました。出席会員の呼び掛けで名簿に載っていない方(本部も支部も卒業後の消息を確認できていない同窓生)にも来ていただき、平均年齢がだいぶ若返りました。ちなみに、50期2002年電気電子工学科卒業のＩ君や41期1993年物理学科卒業のU君が初め

て顔を見せてくれました。新しい会員が継続して参加していただけることを希望し、今後ともこのような取組みを強化して行きたいと考えております。

総会に次ぐもう一つの行事「秋の親睦昼食会」は、11月23日に奈良県奥吉野・ホテル杉の湯で実施されました。定例化したこの行事は今回で19回目、前回と同様の18人の参加者がありました。ホテル杉の湯は吉野川源流の村・川上村迫に位置し、大滝ダムを望む山間の中腹に建っています。かつての村はダム湖の底にあったらしく、官幣大社に列せられていた丹生川上神社は集落とともに高台に移転しました。「官幣大社としては初めての移転だ」と言われています。2014年11月に「全国豊な海づくり大会」が当地で開催され、天皇皇后両陛下が来県されてアマゴとアユの稚魚を放流されたということで、この時詠まれた歌の記念碑がダム湖を望む遊歩道にありました。いつものように温泉に浸かり、山海の珍味に舌づつみを打ち、和やかな雰囲気のなかで親睦を深め合いました。

さて、総会と秋の昼食会が関西支部の主な活動ですが、それを支えるために役員会と会報編集委員会を年



秋の親睦昼食会（平成27年11月23日「ホテル杉の湯」）

に２・３回開いています。役員会は定例化して5月と9月に、会報編集委員会は2月と6月に持つよう努めております。支部会報は7月の総会に配布できるよう準備しており、今年は新人5名にも登場していただき、盛り沢山な『会報9号』にしたいと取り組み始めたところです。

◇ ◇ ◇

九州・山口支部

支部長　松下博文

平成27年度（第14回）支部定時総会・懇親会は、大相撲九州場所前日の11月７日（土曜日）、幸喜徳子会長、大城肇学長のご臨席を賜り、博多上呉服町の琉球料理「旅人（たびんちゅ）」で開催されました。

初参加の５名（山口１名、福岡１名、大分１名、長崎２名）を含め、山口から２名（参加者倍増です。バンザイ！）、福岡12名、佐賀１名、大分８名、熊本２名、長崎４名、宮崎１名、鹿児島２名の32名が集まりました。ご多忙の中、各地からかくも大勢の同窓生にお集まりいただき、この場を借りて、こころより御礼申し上げます。ありがとうございました。

総会では、上間哲副支部長から27年度の決算報告・活動報告ならびに28年度の予算案・活動案が示され、ついで照屋常信支部長の沖縄転居にともない、役員改


懇親会の模様

選が行われ、支部長松下博文（75年入学・教育）、副支部長上間哲（73年入学・法文）、事務局長四郎丸治（89年入学・法文）が選出されました。また、照屋支部長には顧問として今後もご尽力いただける運びになりました。

照屋支部長は11年の長きにわたり奥様ともども支部を支えてくださいました。昨年度の大分日田大会をはじめ、今や当支部は、在九州・山口の琉球大学同窓生にとって、沖縄を想い、学生時代を振り返り、あの場所、あの師、あの友、あの人を語らう場所としてなくてはならない存在になりました。新執行部もこの雰囲気を引き継ぎながら、今まで以上に親睦の輪を広げて参りたいと思っています。

役員改選後、労働問題に詳しい四郎丸治氏によるミニ講演「最近の労働事情について」が催されました。過労死や過重労働の問題等、きわめて今日的な問題が提示され、身近に起きている深刻な問題として改めて把握することができました。

懇親会は、会長、学長、同窓会本部からの手土産の泡盛片手に、オリオンビール、ゴーヤチャンプル、ソーキそば等の琉球料理に喉と胃袋を満たしながら、初参加５名の自己紹介にはじまり、参加者ひとりひとりの大学時代の思い出や近況報告、先輩、後輩、同輩の話に相

槌をうち、あるいは大笑いしながら、思いは遥か首里キャンパスや千原キャンパスへタイムスリップ、その後それぞれにあまくまの酒座をめぐっての千鳥足、来年の再会を約束して、琉大逍遥歌の大合唱でにぎやかにお開きとなりました。

なお、今回から支部活動費は支部総会の場で会長から直々に頂戴することになり、支部のこれからの運営に身が引き締まる思いでした。またその場で、事務局本部からご依頼があった「終身会費１万円」納入のお願いをさせていただきました。今後ともよろしくご協力ご理解のほど、お願い申し上げます。

28年度の総会・懇親会は10月29日（土曜日）、同じく「旅人」で開催されます。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひともご参加ください。こころよりお待ちしております。



総会・懇親会（平成27年11月7日「旅人（たびんちゅ）」）

奄美支部

支部長　山田和憲

奄美支部は支部総会が２年に一度の開催となっています。平成27年度は総会が開催されなかったため割愛いたしました。

久米島支部

支部長　儀間周倫

昨年度（26年）から27年11月間の活動を総括する支部総会を11月26日に会員約30名の出席で開催し、大学から外間副学長、同窓会幸喜会長、山里事務局長が出席されました。

活動報告、予算決算等の審議を終えて懇親会へと移り、幸喜会長の琉舞の披露、会員の三味線や踊りで会を大きく盛り上げ懇親を深めることができました。皆様方に感謝申し上げます。

また、島出身の宮城重哲さんからの提案、「久米島復活プロジェクト」の紹介もありました。それは、人口減少による「消滅危惧自治体」と指摘されている久米島、「その復活！」と題して、島の現状を直視し、島に住みたい若人らが夢を持てる島を実現するか、大きな課題となっています。



総会・懇親会（平成27年11月26日「亀吉」）

その課題解決と実現に向けてプロジェクトをいくつか紹介し、私たち会員が課題を共有し会活動の活性化に繋げていきたいと思います。

その取り組み事業として

・島の小中高の教育レベルを上げて進学のため島を離れる生徒を少なくする。
・深層水を活用した魚介類の養殖、サトウキビ、サツマイモ、大豆等の栽培を基本に、一次産業、二次産業、三次産業を、島内で一本化した６次産業型化を目指す。
・観光産業の誘致・開発。
・その他。

また、琉大サテライトキャンパスの設置に伴い、多くの町民が琉大の授業や講座を身近で受けられるようになりました。

さらに、島の子ども達が大学の学びに興味を持ち、進学意欲や、目的意識を高め、島の発展に貢献できる「知のふるさと納税」事業も、琉大在学生の皆さんが実施し多くの賛同を得ました。琉大との交流事業を通して子どもから大人まで、自らの課題として捉え、島の復活を創造し実現へ向けた思いを共有できる機会となりました。

近年、久米島高校から琉大へ進学する生徒が増えつつあります。同窓会久米島支部も子ども達を激励し、会の活動として取り組み事業を支援して行きたいと思います。


懇親会の模様

■ 主な年間活動の紹介（27年10月～28年９月）
- ○ 同窓会本部との連携
- ○ 新会員の歓迎・激励
- ○ 学校・関係団体との連携
- ○ 親睦レクリエーション
- ○ 琉大合格者、在学生激励
- ○ 琉大ホームステイの事業協力
- ○ その他

宮古支部

支部長　長濱幸男

2015年度の宮古支部の定期総会は8月1日（土）午後4時から宮古島市内のレストランで開かれ、25名の会員の参加しました。本年も琉球大学・大城肇学長のご臨席を賜りました。

● 具体的活動状況 ●

1.会員相互の親睦に関する活動

＊第1回グラウンドゴルフ大会　3月21日（土）
午後4時　袖山GG会場。

＊第2回グラウンドゴルフ大会　10月3日(土)
午後3時　袖山GG会場。

両大会とも入賞常連者との激しい対決となり、競技成績に番狂わせがありました。熱戦後、懇親会で相互の親睦を深めました。


グラウンドゴルフ大会



総会・懇親会（平成27年8月1日「レストラン のむら」）

2.同窓会本部・幸喜会長との懇談会

7月26日、幸喜徳子会長をお迎えし、支部役員との懇親会を行いました。幸喜会長より琉球大学同窓会創立60周年記念事業の取り組みと今後の活動報告があり、宮古支部への活動費を贈呈していただきました。

3.琉球大学との連携に関する活動

＊宮古島市の琉球大学サテライト局における講義に参加。「狩俣繁久教授による沖縄の方言指導」等。

＊地域貢献フォーラムIN宮古・市民講座、徳田博人教授による「辺野古公有水面埋立て問題と地方自治の



保障」、星野英一教授による「米軍基地問題と東アジアの国際環境」。

4.地域における活動

＊支部総会後の講演会(一般市民も参加可)

総会終了後の記念講演には根間俊明氏(化学科18期)による「天気予報の話あれこれ」の演題で、近年の宮古島に接近した台風についてエピソードを交えながら、楽しい講演でした。

＊宮古支部で恒例となっている「こども教室」

「子供囲碁教室」を8月19日と11月2日に実施しました。場所は「ふたば学童」、「地盛公民館」。小学生30名が参加した。内容は5路盤を使い、囲った石がとれる状態にあることを知る。(会員5人参加)



子供囲碁教室

八重山支部

支部長　宜野座安夫

■ 1年間の活動 ■

〈平成27年〉

3月25日 支部長が八重山高校校長本成浩氏を訪問し、琉球大学同窓会八重山支部の事業計画である、琉球大学合格者激励への趣旨を説明する。

7月11日 琉球大学同窓会創立60周年記念式典並びに記念講演、祝賀会へ出席(支部長)記念講演講師:岸本正之氏「地球社会の明日を読む」於:ホテルロイヤルオリオン

11月18日 3役にて次回総会に向けての取り組みを確認する。

11月27日 午後7時よりレストラン高縞にて再結成以来、評議員を交えての役員会を開催する。初めての理事会という事で大いに盛り上がり、拍手喝采で喜び合った。

〈平成28年〉

1月10日 午後3時から石垣スポーツパークでグラウンドゴルフを楽しんだ。前日までは雨続きであったが当日は心配していた雨もあがり、八重山グラウンドゴルフ協会会長の瀬名波長宏氏の競技説明のあとプレーを楽しんだ。ベテラン揃いで、レベルの高いグラウンドゴルフ大会になった。午後6時半からは北京飯店にて、総会、新年会が開かれ、琉球大学の大城学長、平良総務課長、幸喜会長、嘉手苅副会長も出席され、賑やかな新年会となった。会では座開きの鷲の鳥節に始まり、舞踊ミーハイユー、グラウンドゴルフ表彰、スピーチ等と続き楽しく歓談していた。

1月23日 会長、副会長、事務局長で今回の総会並びに新年会についての総括を行う。

- 参加者をもっと増やす必要がある。(市役所内の琉大OBへも積極的に声かけをする)
- 期日についてももう少し検討する必要がある。
- 琉球大学八重山出身合格者激励会は必ず実行したい。
- 本部の総会へ複数人で参加し、もり立てる。

以上を確認した。







総会・懇親会(平成28年1月10日「北京飯店」)

母校情報等

琉球大学に教職大学院がオープンします

平成28年度から琉球大学に「教職大学院」が設置されます。教職大学院は、教員免許を持って行う実習が中心で、修士論文はありません。現場の仕事を中心にスキルを学ぶ、腕をあげることを目的とし、また、特別支援以外の専修免許を取ることができ、養護教諭や栄養教諭を対象にしていることも琉球大学教職大学院の特徴となっています。

教職大学院の目的のひとつに沖縄県の教育を担うリーダーを育てることがあり、教科・領域の専門性を高め、子どもを主人公とする学級づくりや学校づくりを実践する未来のリーダー、地域のリーダーを育てることを目指しています。

教職大学院は、14人の定員に16人の教授陣が配置され、行き届いた指導ができるようになっており、実習等の連携協力校も確保され、教育修士の資格を取得することができます。

母校に新たな大学院が設置されることにより、将来の沖縄の教育界における専門性やスキルの高いリーダーが輩出されことが期待されます。

活躍する琉大生

第２回福島県再生可能エネルギー普及アイデアコンテスト 最優秀賞受賞

「第2回福島県　再生可能エネルギー普及アイデアコンテスト」（朝日新聞社主催）で理工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻の学生４名が最優秀賞を受賞し、6月28日に福島県で行われた表彰式で表彰状と賞金を授与されました。今回の最優秀賞の受賞は昨年の入賞につづく2年連続の快挙であり、本学学生の優秀さが証明されました。

同コンテストは、「再生可能エネルギー先駆けの地」を目指す福島県が抱える課題を解決し、再生可能エネルギーの普及を促進するためのアイデアを募集するもので、応募資格は29歳以下で高等専門学校生、大学生もしくは大学院生の個人またはグループとなっており、今年度は全国の大学等から24件の応募がありました。

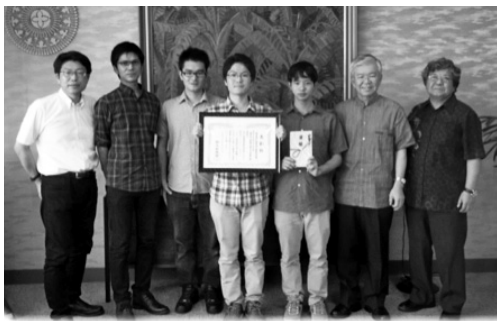
最優秀賞を受賞した池間さんらは、直流送配電新技術を福島県へ導入することで再生可能エネルギーの普及につながることを示しました。直流送電は従来の交流送電より安定した長距離送電が可能で、損失が少ない等の利点があります。さらに、広域連系による系統の大規模化を図ることで再生可能エネルギーの効率的な利用や系統の安定度が改善できることを示しました。直流配電では災害時の対応策として他系統から独立しても自立運転可能なシステムを提示し、福島県へ企業誘致を促すために電気料金を低廉化する方法について提案しました。

有住工学部長や指導教員の千住教授と共に学長室を訪れた学生らは、受賞の喜びや将来の抱負について大城学長に報告しました。大城学長は、再生可能エネルギーの普及は島嶼県である沖縄や太平洋島嶼域などでも必要とされている、今後さらなる技術開発を期待していると述べました。

〈琉球大学ＨＰより転載〉



大城学長に
表彰状を披露



右から
有住工学部長、
大城学長、又吉さん、
池間さん、上原さん、
田原さん、千住教授

サークル活動紹介

ダンスサークル「R-Family」

代表者　教育学部保健体育専修3年次　**知名　竜実**

R-familyは琉球大学ダンスサークルの名前で、結成からの活動はまだ5年ほどです。現在は約30～40人のメンバーで、大学内だけではなく大学の外でも活動しています。例えば、大学の行事である琉大祭ではダンスで観客を盛り上げ、大学外の行事では「ござまる祭り」やNHKの「絆のチカラ」の出演経験があります。他にも、個人でイベントに出場するだけでなく、琉球大学を卒業してからもダンスで地域に貢献している人たちもいます。

2015年は「交流」をテーマに活動したことで、様々な経験が出来ました。まず、沖縄で初のイベント、琉球大学・沖縄国際大学・沖縄大学・名桜大学の4つでダンスバトルを行う「4大学 Dance Battle」の企画に携わりました。また、附属中でのダンスレッスンも行いました。このレッスンも初めての経験で緊張しましたが、子どもたちが楽しく踊ってくれたことで無事に成功を収めることが出来ました。

R-familyは結成してまだ間もないですが、ダンスを通して地域に貢献できるよう頑張りますのでこれからもよろしくお願い致します。



学内散歩

（文責：儀保博信）

少しあたたかかった１月下旬。キャンパス内、農学部駐車場近くを歩いていると、女子大生２人が何か売っているみたい。近づいてみると大豆を並べてデータを取っているみたいだ。

何をしているの？

炭には土壌改良効果があり、作物に良い影響を与えると言われています。私たちは実際にバガス炭を土に混入し、大豆の収量がどうなるか研究しています。

どうして路上でやっているのか？

室内が暗かったので、明るい路上が写真を撮る絶好の場所であったため。

研究の結果は？

データに関しては集計中なので結果はまだ出せません。

苦労したこと、良かったことなど教えてください。

大豆栽培を無農薬という条件の下で行っていたので害虫対策に苦労しました。今回の研究では大豆の播種時期が遅れてしまい、そのことが収量に影響するのではと懸念していましたが、今年は暖冬だったため順調に育ってくれて良かったです。



教えてくれたのは農学部地域農業工学科地域環境工学コース造構学研究室４年次の禰覇麻子（右）さんと小田和佳奈（左）さんでした。

第44回沖縄の寮歌・大学の歌祭りに参加

第44回「沖縄の寮歌・大学の歌祭り」が、平成28年3月5日（土）に浦添市てだこホール（市民交流室）で開催されました。

当日は、県内外22大学から約150名の同窓生が参加し、旧制高等学校を含む各大学が揃いの法被や鉢巻きをして各々の母校の寮歌や校歌を力強く歌い合いました。

琉球大学からは同窓生15名が参加し、「琉大逍遥歌」と「琉球大学の歌　雲よ湧け、千原の空」をCDの伴奏に合わせて力強く歌い、会場の雰囲気を大いに盛り上げました。寮歌等披露の後は各大学の参加者との交流を深め、最後に照屋寛八琉大同窓会副会長の閉会の挨拶で幕を閉じました。



教　育　余　話

地域の健康課題に取り組む学生のパワー



医学部保健学科
地域看護学　教授
宇座　美代子
1977年卒 25期
保健学部保健学科（5期）

琉球大学医学部保健学科では、学部3年次前期より卒業研究（以下卒研）に向けた勉強会が各教育研究分野で始まる。地域看護学分野では学生の希望に沿って卒研テーマを決めているが、地域看護学分野に登録したいという平成27年度3年次学生が卒研のための文献検索の勉強会を始めた頃、チラシを持参して相談に来た。チラシには「地域を共に創る」～地域共創型学生プロジェクト～「ちゅらプロ※」募集中とあり、学生3名でプロジェクトに応募したいというものであった。そのプロジェクトの趣旨には、琉大生が自ら「地域」に入り、地域の課題の発見・解決等に取り組む「プロジェクト」を募集し、そのプロジェクトを通じて、学生が地域に対する理解をいっそう深め、卒業後も地域の発展に貢献できる人材となることを目指す、と書かれていた。この内容は医学部保健学科地域看護学分野の目指す保健師の教育や研究内容とも一致するものであり、旅費等の経費もあり、学生と同じように私もワクワクするようなプロジェクトだと思った。

学生の希望は、地域の子どもたちの貧困と健康との関連を考えたいというものであった。学生と一緒にプロジェクトの内容について、地域の子どもたちの年齢はどの年齢を対象にしたらよいのか、貧困の定義はどうなっているのか、健康はどの側面から捉えるか、地域の誰に相談すれば子どもの貧困と健康の課題がわかるのか、など話し合いを重ね学生はエントリーシートを書き上げた。その結果、採択された。調査については疫学研究倫理審査の承認も得た。学生3名は、「ちゅらプロ」の予算で宮古島まで行くなど、地域の関係者へのインタビューや調査を既に終え、琉大生が考える「地域の課題発見」や「地域の課題の解決」に向けて、現在調査結果を分析検討中である。

これまで地域看護学分野に登録した卒研生は102名になるが、上記のように学生自らが予算を獲得して卒研の調査に臨んだ経験は初めてのことである。学生たちの素早い動きにびっくりするとともに、学生が予算を獲得し研究を進める方法はなかなか良いものだと感じている。学生のパワーに脱帽である。

※「ちゅらプロ」は、平成25年度文部科学省補助事業「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」において採択されている「ちゅら島の未来を創る知の津梁（かけ橋）」の事業の一環として琉大コミュニティキャンパス事業本部が主催している。

新中糖産業株式会社

代表取締役社長　上原　周夫

〒903-0103 沖縄県西原町字小那覇 628 番地 1
TEL.（０９８）９４５－３３１１
FAX.（０９８）８３５－８１７９

退職される恩師紹介（平成28年３月31日付）

～長い間、お疲れさまでした～

法文学部 准教授　宮里　節子	理学部 准教授　小賀　百樹	大学院医学研究科 准教授　等々力英美
教育学部 教　授　神園　幸郎	医学部 教　授　宇座美代子	工学部 教　授　福本　　功
教育学部 教　授　松本　修一	医学部 教　授　垣花　シゲ	農学部 教　授　上野　正実
教育学部 教育実践総合センター 准教授　玉城きみ子	大学院医学研究科 教　授　上里　　博	農学部 准教授　小宮　康明
理学部 教　授　日高　道雄	大学院医学研究科 育成医学講座 教　授　太田　孝男	

※掲載についてご了承いただいた先生方です。

Interview

琉球大学を卒業後、各方面でご活躍の同窓生を紹介します。
今回は、琉球銀行頭取・金城棟啓氏、映画監督・中江裕司氏に在学中の思い出や後輩へのエール、沖縄の将来、夢などについて語っていただきました。
（文責：編集委員　上原　修）



琉球銀行頭取
金　城　棟　啓
1977年卒 25期
法文学部経済学科（経営学専攻）

大学在学時の思い出について

４年間、サイクリングクラブに所属していました。仲間と自転車で鹿児島を出発して、１カ月以上をかけて阿蘇、長崎、福岡、四国、京都まで縦断したことは貴重な経験でした。有難いことに今でも、クラブの先輩や後輩との付き合いが続いていますが、問題は、サイクリングから「カラオケマイク」やゴルフクラブに持ち替えていることです。

当時、首里キャンパスの雰囲気は？

守礼門の前で観光客らしき人から「守礼門はどこにあるの？」と聞かれたことを覚えています。首里城跡の中に大学キャンパスがあるというのは誇らしいことでもありました。守礼門から右側に下りていく途中の崖の下にサイクリングクラブの部室がありました。先輩方が試行錯誤して作った手づくり感満載の部室。そこには、ロードレーサーではなく所謂「ドカター（運搬用自転車）」が置いてありました。そういう時代だったのです。

恩師の思い出は

勉強しない学生でした。琉球政府立から国立大学移管により商学科から経済学科経営専攻に名称変更となった時の最初の学生です。経営者（社長）になるための専攻と思っていて、周りが簿記を勉強するのを不思議に思っていました。ゼミでの卒業レポートは、オリオンビールの決算分析でした。仲宗根啓介先生、お世話になりました。

学生時代に読んだ本の思い出は

勉強しないわりには比較的、本は好きでした。ただし、専門書から程遠い小説の類で、乱読でした。本を読むことは重要だと、若い人に勧めていますが、環境も大事です。若い頃、仕事で東京に10年おりました。電車での長い通勤で読書の習慣が定着したと思います。今は、月１回上京しますが、６～７冊買って帰ります。「積読」という読み方をしています。昨年シンガポールに出張の際、「自炊（書籍をイメージスキャナ等を使ってデジタルデータに変換する行為の意）」してｉＰａｄに落とし込み、飛行機の中で読書三昧。隈研吾氏の「新・都市論ＴＯＫＹＯ」は畑違いですが、面白かったです。

銀行に入社したいきさつ、当時の思い、目線などは？

無事４年で卒業できそうなので、就職試験を幾つも受けました。当時、家庭教師をしていたお宅の１階がスナックでした。常連客に琉球銀行の方がおられ、私に「県庁や公庫に行ったほうがいい」と琉球銀行より他社を薦めます。これは、きっと面白いことがあるに違いないと就職を決めました。あの頃から天邪鬼だったのです。那覇市内の営業店に配属されましたが、当然、失敗ばかりでした。周りの人たちの優しさに救われて今日があります。

琉大同窓生（後輩たち）へエールを

人生万事塞翁が馬。災い転じて福となす。何が良いか、どう捉えるかは、その人次第。山あり、谷ありの人生を、ポジティブに一日一日を丁寧に、かつ楽しんでください。きっとイイ事があります。

沖縄の将来性、夢について

中長期的視野に立つと、沖縄のポテンシャルの高さに圧倒されます。貿易のグラビティ（重力）モデルが本格的に機能する時代になりました。世界の中心にある沖縄がこれから存在価値を高める。そう考えると、グローバル人材の育成が急務です。シンガポールとハワイを掛け合わせた魅力あるシマ。それが沖縄です。



映画監督
中　江　裕　司
1985年卒　33期
農学部農学科

中江さん、出身地はどちらですか

京都です。

なぜ沖縄へ？　学科は？

兄が北海道の大学に行ったので、自分は兄よりもっと面白い所に行こうと考え、沖縄に来ました。学科は農学部農学科です。

学生時代はどんなふうに過ごしましたか

勉強はしなかったですね。１年の終わりに、映画研究会（映研）に入部しました。京都の自宅には親父の８ミリカメラがあったので、それを借りて平和通りとか市場を撮りました。僕は当時は映画をやりたかったわけではないんですね。ただ、１年次の夏、京都に彼女がいたんですが、遠距離恋愛で結局振られてしまいました。本好きだったけど、振られてから身に入らない。たまたま映画を見たら忘れられたんです。だから映画ばかり見ていて、沖縄のほとんどの映画館に行きました。

大学の単位とか、大丈夫でしたか

除籍にならないくらいで授業に出ていました。大学は５年で卒業しました。映研サークルは、授業より撮影が優先なんです。みんなでつくるので、「講義に出る」と言ったら、「お前何言ってるの」ですよ。

ほかに活動は

そのころから脚本は書いていましたね。私は1980年入学で、首里キャンパスも経験しました。首里のプレハブの暑い教室で授業中に書くんですよ。僕にとって、夢中になる時間でしたね。それこそ90分の講義が、５分ほどにしか感じない。手書きですから、いかにも講義の内容をメモしているように見えたと思います（笑い）。

僕は怠け者なので、講義を終えて、「さあ、書こう」なんてできない。家とか、部屋とか１人の空間では書けない。この感覚が抜けないですね。

首里の思い出は

学生時代から卒業後にかけて６年ほど崎山に間借りをしていました。長屋風の家でその半分を仕切って住んでいました。家賃は月額５千円で、トイレはいわゆる「ぽっとん便所」。そこを出て10年くらいしてから家主のおばあさんに会いに行ったら、そこは新しくアパートが建っていました。ただ、おばあさんに聞いたら、「あんたが住んでいた所から不発弾が出たよ～」だって。僕は不発弾の上で何も知らずに６年間も住んでいたんです。

沖縄は

刺激的で、いろいろ見てみたいし、珍しいことがある。私の出身地の京都の価値観、いわゆる「遠慮」ですが、それがここにはなく、人々は口で言ったとおりで物事を考えている。そんなこともあって沖縄の映画を撮ることにつながっていきました。生の沖縄の雰囲気を知らなければ、映画はつくれなかったと思います。

いまはどんな仕事が中心ですか

ドキュメンタリーをよく撮っていますね。この前は、ＮＨＫのドキュメンタリーで、「豚の音がえし」「戦場の真心（チムグクル）」を制作しました。それから同時に映画の脚本も書いています。そして、桜坂劇場をずっとやっていくことです。大学のころ夢見ていたことです。

振り返ると、講義には全然行かず、映画ばかり撮っていた。そんなことが続いたので、さすがに大学の先生（野瀬昭博先生）も心配したんでしょう。４年次のとき、先生がわざわざ首里の下宿に訪ねて来て、「そろそろ来ないと、もうダメだぞ」と言われました。その一言がなかったら、僕は琉大を卒業できなかったですね。ほんとに助けてもらいました。

オキジム

学部・学科同窓会総会概要

医学部医学科同窓会講演会・懇親会

平成27年7月19日（日）に医学部医学科同窓会講演会・懇親会がラグナガーデンホテルで開催されました。本部からは儀保博信副会長と山里将順事務局長が出席しました。



商学経営学友会総会・懇親会

平成27年10月26日（月）に商学経営学友会総会・懇親会がザ・ナハテラスで開催されました。本部からは幸喜徳子会長と山里将順事務局長が出席しました。



同窓生情報・寄付情報

岸本正之氏出版祝賀会及び5,000ドルの寄付！

米国在住の同窓生岸本正之氏（5期生）が発刊した「私たちは小さな水の星に生きている 地球政府の樹立を目指そう」の出版祝賀会が平成27年7月13日、ザ・テラスホテルで行われました。祝賀会には元沖縄県知事の大田昌秀氏や大城肇琉球大学長、琉球新報社社長の富田詢一氏ら約40名が出席しました。

また、岸本氏は60周年記念事業に活用してほしいと前年に引き続き、同窓会に対し5,000ドル（約62万円）の寄付がありました。

同窓会としては、60周年記念事業として同氏を講師に招いて開催した記念講演や記念式典・祝賀会及び「60周年記念誌」の作成等に有効に活用させていただくこととといたしました。



岸本氏、出版祝賀会での記念撮影


岸本正之氏宅にて（2016年1月1日）

寄付情報

創立60周年記念事業の開催等に際し、同窓生の方々より多大なご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。いただきました浄財は記念事業等同窓会活動の資金として有効に活用させていただきます。

ご寄付をいただいた方々	比嘉照行様（5万円）、又吉慶次様（5万円）、波平正様（2万円）、大城　肇様（1万円）、北原秋一様（1万円）、新島義龍・ユキ様（1万円）、長濱幸男様（1万円）、高良和子様（5千円）、岸本弘光様（5千円）

同窓会では、運営資金が厳しい状況下にあり、継続的に同窓会活動を行っていく上で、同窓生の方々のご協力が必要となっています。同窓会では随時寄付金の受付をしておりますので、よろしくお願いいたします。

文芸活動欄

【俳句の部】

大綱引き　若者の声　高らかに
ゆうな咲く　親子の歌に　心うつ
福木の実　色つき香る　石だたみ

（仲門　勇市）

【川柳の部】

駐車場　教えて欲しい　停めた場所
雑種犬　診察時にも　伏し目がち
家事育児　介護もついて　土俵際

（小市民）

画で楽しむ！

友利徹男

昭和33年卒　6期
文理学部生物学科



植物画　ゲットウ



油絵　漫湖公園

【琉歌の部】

大学問成さ　城跡首里から
肇文武染み　己ぬ肝に

大きな学問を成し遂げようと
入学したのは
城跡の首里から
はじめは、文武を体に染めて、
その気持ちを
あなたの心の中に染めましょう

幸生り和合　喜びや福に
徳積御万人　子孫世までぃ

幸せが生まれるのは
和合することにあり
喜びあい幸福になるよ
徳を積んだ万人は
幸せが子孫まで栄えるよ

手技学問ぬ　琉球大学
還暦祝いてぃ　栄てぃたぼり

手に技術を身につけたり、
考えたりする学問を教えるのは
琉球大学、母校の役目であり
同窓会は還暦六十周年を祝って
栄えてほしい

（大湾　知子）

【短歌の部】

朝光に海面輝く凪の海
　出船の音の遠く消えゆく

花ゆうな散りし道の辺紅淡く
　故郷の香街角に拾う

歩くたび音を奏でる幼の靴
　登園の道に風とコラボす

（神村　洋子）

随想　三重大学の忘れがたき友人
（淡路・神戸大震災に遭う）

昭和36年卒・9期 文理学部法政学科　仲門　勇市

今から二十年前、三重大学に勤務していた頃、一九九五年一月十七日午前五時四十六分に淡路・神戸大震災が発生しました。

その時私は公務員宿舎の三階に住んでいましたが、地震は公務員宿舎が倒れるほどすさましいものでした。直後、大学に連絡をいれましたが返事はなく、すぐ同僚のAさんに電話したところ幸い連絡がとれて、大学の状況や職員、学生の身辺の状況を確認すると現時点では異状なしとのことでほっと安心しました。

翌朝、緊急の対策を立ち上げ、現状把握と近隣の国立大学の状況把握、情報収集を開始しました。その結果、神戸大学、神戸商船大学が崩壊との情報が入り、早速、医師、看護師、医療職員等百名の救助隊が編成され、支援のため神戸に向かいました。

道路は完全に寸断され崩壊し救助隊は引き返すほかなく、残念ながら役目を果たすことができませんでした。その体制組織づくりにAさんが果たした役割は偉大なもので、その組織づくりが基本となり、学内の災害対策基本方針、具体策等が策定され、今日的対策が確立されました。

Aさんの努力及び理念に基づく具体的な方針は、従来までの方針を百八十度転換させた画期的なもので、これを基に学内災害対策方針等が確立されました。Aさんの功績は大学だけにとどまらず、三重県及び各市町村にも波及し、それらの自治体にも災害対策基本方針を確立させました。

二度とこのような大災害が発生しないことを念じつつ、Aさんの功績に敬意を表したいと思います。

平成27年度琉球大学同窓会役員

役職	氏　名	卒業(期･年･学科)		
会長	幸　喜　徳　子	14	41	体育
副会長	儀　保　博　信	14	41	社会
	照　屋　寛　八	17	44	音楽
	嘉手苅　喜　郎	8	35	初等教育
	上　原　正　信	21	48	農学
	喜屋武　直　樹	41	H5	経済
顧問	富　永　元　順	2	29	政治
	市　村　嘉　久	2	29	政治
	安次富　長　昭	2	29	美術工芸
	比　嘉　正　幸	5	32	政治学及法学
	赤　嶺　健　治	8	35	英文
監査員	波　平　　正	23	50	商学
	仲　本　喜　一	28	55	経済
評議員	森　田　恒　勝	2	29	経済
	津　留　健　二	4	31	政治学及法学
	高　山　朝　光	6	33	社会学及経済
	友　利　徹　男	6	33	生物
	上　原　政　英	8	35	畜産
	宮　城　武　久	9	36	電気工学
	仲村渠　良　雄	10	36	体育
	前　川　朝　文	10	37	初等教育
	大　山　　隆	11	38	生物
	名嘉地　用　輔	12	39	経済
	当　真　邦　子	12	39	体育
	上江洲　公　志	13	40	英語
	福　里　重　盛	14	41	化学
	狩　俣　信　子	15	42	法政
	仲　筋　一　夫	15	42	化学
	下　里　義　弘	16	43	畜産
	与那嶺　清　子	16	43	経済
	新　城　　勇	17	44	機械
	照　屋　由紀子	17	44	音楽

役職	氏　名	卒業(期･年･学科)		
評議員	神　谷　乗　仁	17	44	技術教育
	奥　　キヌ子	18	45	家政
	中　村　一　男	18	45	数学
	当　山　尚　幸	19	46	法政
	島　袋　君　子	20	47	体育
	赤　嶺　徳　男	21	48	法政
	川　平　恵　造	21	48	美術工芸
	玉　城　きみ子	21	48	初等教育
	屋　良　　明	23	48	商学
	玉　城　健　治	24	51	経済
	加賀美　英　志	24	51	電気工学
	武　富　良　晃	24	51	経済
	親　川　啓　和	26	53	法政
	米　盛　智恵子	26	53	養護課程
	比　嘉　正　幸	27	54	短期大学部
	當　真　良　明	30	57	法政
	根路銘　三　恵	30	57	保健
	比　嘉　梨　香	31	58	社会
	上　原　　修	31	58	社会
	大　湾　知　子	32	59	保健
	渡久山　秀　治	35	62	農芸化学
	増　田　昌　人	36	63	医学
	平　岡　　孝	36	63	経済
	島　袋　清　人	36	63	機械工学
	大　庭　達　人	39	H3	農学
	前　泊　美　紀	44	H8	法政
	當　眞　正　姫			法科大学院

役職	職　名	氏　名	卒業(期･年･学科)		
事務局	事務局長	山里将順	24	51	法政
	事務局次長	大城朝憲	16	43	史学
	総務部長	大兼一夫	27	53	英文

医薬品・健食開発を通じて
人々のＱＯＬ向上に貢献する

レキオファーマ株式会社
LEQUIO PHARMA CO.,LTD.

代表取締役　奥　キヌ子

那覇市松山2丁目1番12号　TEL:098-867-9114

医療法人 有の会
首里城下町クリニック 第一 第二
SHURI JOKAMACHI CLINIC

内科（高血圧・脂質異常症・糖尿病）
腎臓病・透析・リウマチ・膠原病・循環器内科
医師　田名　毅　・　比嘉　啓
琉大医学科　四期生

第一クリニック
TEL：098-885-5000

第二クリニック
TEL：098-833-1001

ホームページ　http://www.shuri-jc.jp

おいしい幸せ
オキコ

琉球銀行

頭取　金城　棟啓


What legacy will you create?
どんなプロフェショナルになりますか?
今、あなたのキャリアが拡がる
EY税理士法人　沖縄事務所
詳細はこちらへ www.eytax.jp/careers
EY
Building a better working world
The better the question. The better the answer. The better the world works.
© 2016 Ernst & Young Tax Co. All rights reserved.

● ご案内・お願い ●

平成28年度「定期総会」等開催のご案内

期日　**平成28年7月23日(土)13時～**
場所　ホテルロイヤルオリオン
　　那覇市安里　Tel:098-866-5533
日程　支部長会　13時～13時50分
　　定期総会　14時～14時50分
　　シンポジウム　15時～17時
　　懇 親 会　17時30分～19時

シンポジウム

テーマ「これからの沖縄観光と人材育成」

基 調 講 演　下地芳郎氏(琉大観光産業科学部教授)
パネリスト　稲嶺盛福氏(琉球ガラス村グループ会長)
　　下地かおり氏(ブライダルハウスチュチュ常務)
　　平良朝敬氏(沖縄観光コンベンションビューロー会長)
　　渡部勝磨氏(日本航空沖縄支店長)

会費納入についてのお願い

本同窓会は会員の皆様はじめ大学及び各界･各層のご理解･ご協力により創立60周年記念を祝うまでに発展して参りました。現在、同窓生は7万6千名余まで達しており、県内外のあらゆる場で活躍しているところであります。本同窓会の主な活動内容は、会報発行による会員相互及び大学との連携にかかる情報の提供、学生支援のための大学への寄附、学生の就職支援のための無料講座の開設及び県内経済界等の方々との連携によるシンポジウムの開催など多岐にわたっています。

これらの活動を行う上で資金となる同窓会費が年々減少傾向にあり、同窓会運営が厳しい状況となっています。会費は、入学時に「入会金1万円」、卒業時に「終身会費1万円」を納入していただいております。会費の納入につきましては、これまでの**郵便局**での払込に加え、27年度より**コンビニエンスストア**及び**銀行**での払込も行えるよう会員の便宜を図っております。

つきましては、同窓会の現状をご賢察の上、会費の納入にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会長・副会長・事務局員

会　　長	幸喜徳子	事務局長	山里将順
副 会 長	儀保博信	事務局次長	大城朝憲
	照屋寛八	総務部長	大兼一夫
	嘉手苅喜郎	書　　記	仲里恵子
	上原正信		
	喜屋武直樹		

【会報第38号編集委員】

編集委員長／儀保　博信
副 委 員 長／上原　　修
編 集 委 員／友利　徹男・上原　正信・当真　邦子
　　加賀美英志・大兼　一夫・玉城きみ子
　　大湾　知子・前泊　美紀

琉球大学同窓会会報第38号

編集発行　琉球大学同窓会
　　〒903-0213 沖縄県西原町字千原１番地
　　Tel:098-895-8039　Fax:098-895-8163
　　E-mail：r-dousou@to.jim.u-ryukyu.ac.jp
　　HP:u-ryukyu.ac.jp/univ_info/dousoukai/
印　　刷　新星出版株式会社